

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	966 文化財保存経費	会計	01	一般会計
基本	36 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	款	10	教育費
策		項	05	社会教育費
策	3 民族芸能等の保存・伝承	目	02	文化財保護費
		細目	101	文化財保存経費
		細々目	01	文化財保存経費
基本計画該当頁		141		行革大綱の重点事項番号
3				
担当部課	コード	705000	評価者	鎌本方洋
	名称	教育委員会 大山田分室	氏名	連絡先
				46 - 0130 (内線)

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
指定文化財 (対象件数)	二つの保存会により、県指定等無形文化財が伝承される。
根拠法令・要綱等	伊賀市教育委員会関係補助金交付要綱
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
本年度事業内容	植木神社祇園祭保存会への補助金交付 祭の保存伝承 祭具の維持管理 富永区の祭保存会への補助金交付 祭の保存伝承 祭具の維持管理、
状況変化等	保存会存続の継続

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
保存会の活動回数	回	目標	10	目標	10
		実績	10	実績	10
		目標		目標	
		実績		実績	
		目標		目標	
		実績		実績	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
保存会に参加する人数	保存会の存続自体が文化財の伝承につながる。	人	目標	600	目標	600
			実績	600	実績	600
			目標		目標	
			実績		実績	

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	保存伝承のための措置として、保存会の存続が必要
有効性	3	保存会の存続、環境整備が文化財の伝承につながる。
達成度	3	ほぼ計画通り実施できた。
効率性	3	補助金の減により、他団体からの協力を受け実施するものの、協力を受ける状況が不安定であり、コスト削減は望めない。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	過疎化する中、指定文化財の保存伝承のため管理経費の増が見込まれるが、住民自治協議会、観光協会等地域の理解を得て実施する。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容				
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額		
委託	事業内容	民俗芸能継承補助金		150	民俗芸能継承補助金		135	民俗芸能継承補助金		120	民俗芸能継承補助金		120	民俗芸能継承補助金		120	民俗芸能継承補助金		120		
工事							20	その他		20	その他		20	その他		20	その他		20		
進捗率 (%)		事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)				
		人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
		フルコスト (A) + (B)			870			855			860			860			860				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	150	135	140	140	140	140
Aの財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	150	135	140	140	140
	計	150	135	140	140	140
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					